



Vol.39

令和2年3月30日

討議資料

浜松市議会議員

ひらま通信



令和2年 第1回浜松市議会定例会報告

春の陽気が心地よい季節を迎えました。しかしながら、昨今世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症による活動自粛など、私たち市民生活や経済へ及ぼす影響は多大であり計り知れない状況です。今年最大のイベントであった東京オリンピック・パラリンピックについても延期が決定されました。現時点では開催日時の発表はされていませんが、無事に開催できることを願うばかりです。

さて、浜松市議会定例会では令和2年度当初予算の審議を行いました。所属会派「市民クラブ」が提言した政策も予算化されました。当初予算では近年多発する自然災害や気象災害への対応に加え、地球温暖化防止対策、人口減少、超高齢化社会対応、公共交通機関の課題解決、人口10万人あたりの人身事故件数ワースト1からの脱出、中山間地域及び中心市街地活性化など様々な浜松市の問題解決を図るべく事業を推進します。

浜松市が抱える多くの問題・課題の解決や、更なる活性化と飛躍に向け早期解決を図って参ります。



第16回浜松シティマラソンに参加

市民クラブ令和2年度政策提言内容に対する浜松市の回答(抜粋)

「未来の浜松市を見据えた重点提言」

【安全運転サポート車の普及促進について】

補助制度の必要性を研究し、安全運転教室などにおいて高齢者に安全運転サポート車への乗り換えを呼び掛けていく。浜松市自動運転やまいかプロジェクトに関しては、実証実験終了後、効果を検証し協議を継続する。



【スポーツ文化都市浜松】

マリンスポーツ拠点整備については三ヶ日、村櫛の駐車場・施設整備やミニポートなどを降ろしやすいスロープ等を設置、素足で歩けるビーチを目指すなど浜名湖から遠州灘までのトータルな魅力創出ができる議論を深めていく。

詳細内容はここから確認ください



今後の浜松への
活性・活発・活気・活力

「自然災害への緊急提言」

【停電対策】

街路樹再整備及び無電柱化計画を今年度末までに策定していく。蓄電池機能を備えた自家消費型スマートハウスの普及促進を図るため、家庭用蓄電池やV2H対応型設備(電気自動車の電力を家庭用電源として使用)への助成を実施する。ラウンドアバウト(円形交差点)の導入については令和2年度には詳細設計を実施する。



ラウンドアバウト

【酷暑対策】

歩道への透水性舗装の適応を継続し遮熱性舗装の研究を進める。



遮熱性舗装
表面温度の上昇を抑える

「その他の政策提言」

【放課後児童会の拡充による待機児童の解消】

令和2年度は委託化モデル事業を拡大し、令和3年度以降は負担金方式を段階的に委託方式へ移行し、令和5年度には市内統一を図り待機児童の解消に努めていく。



令和2年度主要事業
P155~156

【持続可能な財政運営】

令和2年4月より市税と国民健康保険料の収納についてはスマートフォンを利用したクレジットカード及びネットバンキング決済を開始する。



【ユニバーサルデザインと多文化共生】

NET119(裏面参照)を令和2年度中に導入する。障がい者の情報アクセス・コミュニケーション保障条例については第3次浜松市障がい者計画で障がい者の特性に配慮した情報・コミュニケーション保障の推進を掲げていることから条例制定は予定していない。

【産業がかがやくまち】

中山間地域デジタルディバイド(情報格差)の解消に向け局所的な整備を検討する。企業向けに天竜区二俣に設置したコワーキングスペースの利用を促進し、天竜区への進出を支援する。ライダーの利便性向上施策についてはサイクル&ライド駐車場の整備を進め、原付1種の駐車スペースを原付2種まで駐車できるよう条例改正を検討する。



【住みよいまちづくり】

「いっちょあ」への公園施設追加と利用拡大のための周知に向け、問題点を洗い出しシステム化する有効性を検討する。充電・水素ステーションの設置促進についてはEV(電気自動車)やFCV(燃料電池自動車)などの次世代自動車の普及促進を啓発し充電・充填(じゅうてん)設備などの整備は必要に応じて検討する。

↓関連事業

(新規)公共施設創エネ・畜エネ設備導入事業 V2H(自動車等の電力を家庭用の電力供給減として利用すること)の導入 ⇒FCVやEVから施設へ電池を供給することができる



燃料電池車浜松市導入
CLARITY FUELCELL

令和2年度主要事業
P107



当初予算の主要事業概要(抜粋)

■ 小中学校空調設備整備(事業費 44億8250万円)

小中学校の普通教室に空調設備を整備し教育環境の改善を図るとともに、設置した空調設備の適切な維持管理を行います。

(設置対象数)

	学校(校)	教室(数)
小学校	83	1392
中学校	42	606
合計	125	1,998



令和2年度中に全校完了予定

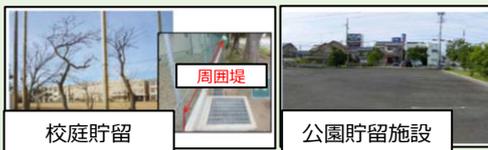
■ 高塚川流域浸水対策(事業費 7500万円)

浸水被害の頻発箇所である高塚川流域において、河川改良や貯留施設の設置により床上浸水被害の解消を目指します。



平成27年9月台風18号時

事業内容	事業費	詳細
・貯留施設等整備	2100万円	・可美中学校校庭貯留施設整備工事 ・可美公園駐車場貯留施設整備工事
・排水路除草 ・水源転換対策	5400万円	・【新規】水田貯留検討業務



校庭貯留

周囲堤

公園貯留施設

■ 交通事故ワーストワン脱出事業(事業費 13億4450万円)

交通事故件数が多く、重大事故につながる危険性の高い交差点における事故未然防止策や、区画線の修繕及び緊急性の高い通学路の安全対策を実施します。



交差点リフレッシュ
道路法定外表示
(止まれ)設置



幹線道路事故危険
個所対策追突注意
などの路面表示



生活道路における
安全対策
ゾーン30対策

■ NET119導入事業(事業費 96万4千円)

NET119緊急通報システムとは、聴覚や発話に障がいのある方がスマホなどにより通報できるシステムです。浜松ろうあ協会様の依頼により市民クラブが政策提言し実現しました。



令和2年10月より運用開始

令和元年12月～令和2年2月 活動実績(一部抜粋)



全本田労連静岡地協スポーツ交流会



自動車総連静岡地協政策推進
コンベンション



上島西自治会餅つき大会



本田労組浜松支部春闘勉強会



本田労組浜松支部組合専従役員OB会



ホンダロジスティクス労組語る会



連合静岡浜松地協新春賀詞交歓会



本田労組第272回中央委員会

【編集後記】

ひらま通信vol.39は政策提言に対する浜松市の回答、当初予算主要事業についてお届けしました。今後も皆さまの声をいただきながら、親しみやすく、活動内容が分かりやすい紙面づくりに邁進します。次回の「ひらま通信」にご期待ください。



全国本田労働組合連合会 静岡地方協議会

議長 高橋 淳一郎

〒433-8501 浜松市中区葵東1-13-1
(TEL) 053-436-5924

SNSで情報を発信しています

